

名古屋発信！ 歴史ある漢方の勉強会 「百合会ワークショップ」

名古屋百合会

●「名古屋百合会」の成り立ち

「名古屋百合会」は、漢方界では大変著名な灰本元先生、安井廣迪先生、林吉夫先生らが中心となり平成4年に立ち上がりました。本会は、漢方医学啓蒙と次世代を担う若手医師、薬剤師の育成を目的としたもので、今では全国でも数少ない歴史ある漢方の研究会となっています。

この研究会では、クラシエ薬品株式会社との共催により「百合会ワークショップ」という勉強会を隔月開催しております。早いもので今年9月で75回目を迎えました。これほど続いてきたのは諸先生方のご尽力と、隔月で途切れることなく着実に実施してきたためと考えております。現在のメンバーは世代交代となり、中村了先生、加川憲作先生、森晃基先生、平松秀樹先生、加藤仁先生、浅野年展先生らが中心となり運営しています。

● 症例検討を大切に

百合会ワークショップでは症例検討を最重要にとらえており、この方針は会の設立当初から変わっていません。毎回担当を決め、症例を1つ2つ取り上げて問題形式で方剤や構成生薬を検討します。5名程度の小グループで、どの方剤をどんな根拠で投与したのかディスカッションをしますが、ここでじっくり話し合うため一時間程度の時間をとります。

若手の先生とベテランの先生が1つのグループとなって話し合うため、実践に近い形で漢方処方選択の考え方を学ぶことができ、若手の先生も参考になることが多いと思います。

今後も症例検討はベースととらえ、継続して行っていきたいと考えています。

● 百合会の将来像

現在の百合会ワークショップでは経方理論をベースとしていますが、目の前にいる患者が治る



写真1 灰本元先生

平成26年5月24日(土) 第73回 百合会ワークショップにて症例検討および解説



写真2 現在の中心となる百合会メンバー

左から順に加藤仁先生、浅野年展先生、中村了先生、平松秀樹先生、森晃基先生、加川憲作先生。

というのを一番の目標に、あらゆる考え方を取り入れています。過去には、経方理論をはじめ、傷寒論・金匱要略の輪読、漢方基礎講座、中医用語解説、生薬解説などを行ってきました。今後も症例検討は続けながら、その他のテーマについては必要に応じて組み立てる予定です。

灰本先生らが設立された理念を堅持して、日本で最も長く続く研究会になるよう運営していきます。そのためには後進を育てるということにも力を入れて行きたいので、若い方々も積極的にご参加ください。

● 第76回百合会ワークショップ

日時：平成26年11月22日(土)

15:30~17:30

場所：安保ホール

(愛知県名古屋市中村区名駅3-15-9)

内容(予定)：症例検討および解説、経方薬論